



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 38

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 38. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1955, 38: 27-30

ISSUE DATE:

1955-11-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186837>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會  
水族館月報

No. 38

1955. 10月 (11月3日)

録 事

10月は、例年のおり、観光の秋であると同時に研究の秋である。今月の入館者は4万人を上回つて、4月よりも多かつたが、金額よりすれば、はるかに少かつた。之は春よりも修学旅行の団体が多かつたせいであろう。

13～14日 玉野水族館の依頼による魚類運搬のために、四國撫養港にて、左海職責を派遣した。

内海委員は福岡における動物学会大会に出席のために17日より、山路委員は動物学会大会及び長崎における水産学会大会に出席のために20日より西下、月末に帰所した。

伊予灘海洋調査実施のために、布施所員は京都側の協力者と共に22日宇品の内海区水産研究所に向つた。左海君も船上作業を助けるために参加することになった。調査団は11月中旬 帰所の予定。

水族館では材料採集と海底の生態観察に資するため、水中肺「アクアランプ」を備えつけることとし、先づ本年コンプレッサー1台を日本潜水器株式會社より購入した。又、実験観察及び水中撮影用に約20立の水を容れる実験水槽を土田製作所に試作せしめた。

20日、今年初めての台風上陸を迎えたが、この台風26号は豆台風ながら11時すぎから风速20mの暴風雨となり、11時半頃から田辺附近を“台風の目”が通過、そのまゝ東北に過ぎ去っただけで、幸に大した被害もなくすんだ。

台風一過後は秋晴れの天気めぐまれ、22日には白浜を舞臺とする映画「泉」撮影のために、松竹大船撮影所の一行大勢が来館し、水族館附近はロケーション見物を兼ねた客のため、時ならぬ賑わいを呈した。

# 業 務 概 況

## ◎10月の入場者数

区 分	水族館 発売数		明光バス 発売数		合 計	
	相分計	黒 計	相分計	黒 計	相分計	黒 計
大 人	7266	44571	14747	87094	22013	131665
小 人	216	3880	102	2196	318	6076
団 体	20042	59450	—	—	20042	59450
合 計	27524	107901	14849	89290	42373	197191
無 入 場 者					21	1399

## ◎10月の事業収入

観覧券売上金	715,800	(黒 計) 3,587,377
魚 類 拂 下	1,600	5,620
諸 収 入	10	850
9月よりの繰越	595,091	
計	1,312,501	

## ◎10月の支出

### 水族館経費

費 目	金 額	黒 計	備 考
人 件 費	61,786	411,857	
合 計	340	440	
備 品 費	143,700	149,290	青泥 許 留 一、実験用
消 耗 費	7313	61,789	
事 業 費	39,399	282,633	
維 持 費	32,360	130,815	
其 他 経 費	44,371	188,779	
積 立 金	121,331	612,112	
合 計	450,600	1,837,715	

### 実験所経費

費 目	金 額	黒 計	備 考
研 究 費	48,000	63,000	宮地内海山陸存池液部5人分
研 究 費	5,000	20,000	
備 品 費	51,270	57,970	Biol. Bull. 65 7K-79 購入
消 耗 費	—	14,500	
刊 行 費	—	329,576	
役 務 費	—	77,610	
合 計	104,270	562,656	

# 博物館経費

費目	金額	累計	備考
人件費	3,700	32,160	
消耗費	—	9,393	
備品費	600	12,320	増子相
合計	4,300	53,873	

# 臨時部

項目	金額	累計	備考
合計	—	468,705	

# 支出合計

		(累計)
水族館経費	450,600	1,837,715
実験所経費	104,270	562,656
博物館経費	4,300	53,873
臨時部	—	468,705
計	559,170	2,922,949

10月末現在高 753,331

支出累計 2,922,949

# ◎前年度との比較

	1954	1955	増減
入場者数	34,128	42,373	+ 8,245
売上金	585,125	715,800	+ 130,675
支出金	259,955	559,170	+ 299,215

# 水族館記事

- ◎ 2日、ケアカイセエビ (*Panulirus homarus*) を1匹入手した。このイセエビは従来もイセエビに混じて入槽していたかも知れないが、記録の上では紀州では始めてであつて、珍しいものといえる。
- ◎ 10日 イサギ が24匹大水槽に入った。
- ◎ 比較的稀な ソウシハギ が15日入つたが、25日惜しくも死亡した。
- ◎ このごろはイカ釣りのシーズンで、13日に3匹、26日に8匹の アオリイカ が入つた。
- ◎ なお先月病菌にとりつかれた エビスダイ は4月遂に死亡したので、液浸標本として保存することにした。

## 資 料

### ⑨ 10月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(14)	2	4	8
気 温 (°C)	$\frac{17.5 - 24.5}{21.9}$	$\frac{16.4 - 23.3}{20.4}$	$\frac{16.6 - 21.8}{18.6}$
水 温 (°C)	$\frac{22.1 - 25.8}{24.2}$	$\frac{21.8 - 23.8}{22.7}$	$\frac{20.1 - 22.7}{21.2}$
比 重	$\frac{22.0 - 23.5}{22.6}$	$\frac{22.6 - 23.7}{23.3}$	$\frac{20.5 - 23.2}{22.1}$

但し { 気温は南水槽室  
 { 水温 } は No. 25 水槽 20/10 時に測定  
 { 比重 }

## 来 訪 録

10月25～26日 ベトナム國のナトラン海洋学研究所長 R. Serène 氏  
 夫妻来館

10月29～30日 印度ボンベール大学教授 D. V. Bal 博士 波部忠重氏  
 の案内にて来館。同氏の話によれば印度にはまだこのような  
 水族館はない由。

昭和30年11月3日 発行 (No. 38)

編集兼  
 発行人

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興会

和歌山縣・白浜町

瀬戸臨海実験所 内

(電話 白浜温泉515)